





8 経営指標

本計画では、日本水道協会の定めた規格である「水道事業ガイドライン」等に基づき、下記のとおり経営指標を設定し、経年変化の確認や他都市との比較を行うことにより、本市水道事業の健全経営が維持されているかという観点から評価を行います。

その評価結果を受け、今後の事業運営に反映します。

指標	指標の説明	望ましい変化	現状 (令和5年度末)	令和11年度末	関連施策	前期計画からの変更
本市独自の水質目標達成率 (安全性の指標) (定期検査における水質目標達成回数/ 定期検査における検査回数) × 100	健康に関連した項目からなり、水道水の安全性を表す指標です。	100%を維持	100.0%	100.0%	1-1	分割
本市独自の水質目標達成率 (快適性の指標) (定期検査における水質目標達成回数/ 定期検査における検査回数) × 100	健康に関連した項目以外で水道水の快適な利用を表す項目からなり、水道水の快適性を表す指標です。	100%を維持	99.9%	100.0%	1-1	分割
管路の更新率 (1年間に更新された管路延長/ 管路総延長) × 100 ※口径50mm以上	当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で管路更新のペースを示します。 1%の場合、すべての管路の更新に100年かかる更新ペースであることを示します。		0.81%	0.92%	2-1	継続
管路の耐震化率 (耐震管延長/管路総延長) × 100 ※口径50mm以上	管路全体の耐震化の進捗を表す指標です。		35.2%	39.4%	2-2	継続
配水池の耐震化率 (耐震対策の施された配水池有効容量/ 配水池等有効容量) × 100	配水池の耐震化の進捗を表す指標です。		68.2%	75.3%	2-2	新規
災害時給水栓等の訓練実施率 (1年間の災害時給水栓等訓練回数/ 災害時給水栓設置箇所数) × 100	災害時などにおいて、地域の皆さまと連携した対応ができているかを表す指標です。		33.9%	50.0%	10-1	継続
経常収支比率 [(営業収益+営業外収益)/(営業費用+ 営業外費用)] × 100	経常費用が経常収益によってどの程度賄えているかを表す指標で、100%以上の場合、良好な経営状態であると言えます。	—	117.9%	100%以上	—	継続
給水収益に対する企業債残高 (企業債残高/給水収益) × 100	企業債残高から見た財務状況の安全性や企業債残高が経営に与える影響度を表す指標です。	—	219.9%	300%以下	—	継続
料金回収率 (供給単価/給水原価) × 100	給水にかかる費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標で、100%以上の場合、給水収益で費用が賄えていることを示しています。	—	106.2%	100%以上	—	継続

- 「本市独自の水質目標達成率」については、水質目標をどのように管理しているかを明確に示すため、水道水の安全性に関する指標と、快適性（おいしさや外観）に関する指標を分けて設定しています。
- 「管路の更新率」及び「管路の耐震化率」については、これまでの事業進捗によって前期計画策定時から管路総延長が増加しているため、最新の数値をもとに指標を設定しています。
- 前期計画における指標のうち、「浄水場の主要施設の耐震化率」については、本計画期間中に積極的に推進する施策の状況を示す指標「配水池の耐震化率」に替えて設定し、「応急給水施設の設置割合」については、市内の指定避難所（195か所）への災害時給水栓の設置が概ね完了したため、設定を見送っています。